

第69号

いずみつうしん

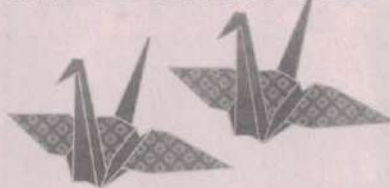
発行所 社会福祉法人いずみ
〒511-0251
員弁郡東員町大字山田1546-1
TEL (0594) 76-4126
FAX (0594) 76-4368

◆◆◆◆◆ TOIN いずみ 年末慰労会 ◆◆◆◆◆

くろがねもちで年末慰労会を開催しました。新型コロナウイルスの感染が拡大している中で開催することを非常に悩みましたが、「店舗の貸し切り」「パーティションを使用して飛沫対策」などの対策を行うことで開催することができました。



当日は「くろがねもち」の会席料理を楽しみました。普段とは少し違う食事をみんなで楽しむことが出来ました。



施設長より

「くらし」

昨年4月に新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発令されてもうすぐ1年が経過します。まだまだwithコロナの生活が続きますが、この一年間で私たちの暮らしは大きく変わり、同時に今までの暮らしを見つめなおす機会にもなりました。テレワークが広がり自宅に居ながら仕事ができること、研修会もオンラインで行われ、会場まで足を運ぶ必要が無くなったこと、様々なイベントが中止になって季節の楽しみが無くなったこと。

昨年末、私の周りの多くの方が「なんか今年は年末って気がしないよねー」と話をしていました。昨年一年間、季節を彩るイベントが全て無くなり、思うように外出もできず、日々必要最低限の生活しかできなかった。だから、年末もお正月もいつものような特別感がなく、何とも味気ない一年の締めくりだったんですね。

そこで改めて思いました。障がいのあるなかま達、特に重い障がいがあるなかま達の暮らして、コロナ以前からそれに近かったんじゃないのかと。就労支援や生活支援と同じくらい、暮らしを豊かにする余暇支援や外出支援が大切であること。移動支援を使わなければ生活するために必要最低限の行動やスーパーにすら行くことができない。誰かの支援を受けなければ日常生活すらままならない。そんななかま達がたくさんいること。

コロナの一番やっかいなところは、人と人との繋がりを奪ってしまうところ。私達が必要としているのは人と繋がること。

2月17日、日本でも医療従事者によるワクチンの先行接種が始まりました。医療従事者の皆さまのご尽力に心から感謝するとともに、誰もが安心して暮らせる元の生活への第一歩となることを切に願います。

TOINいずみ 施設長 石垣 毅

TOINあーち 2月11日 お楽しみ会

2月11日（木）の祝日開所日に、お楽しみ会でカラオケを行いました。コロナウイルスの対策で、換気のできるロビーで班ごとに入れ替わりながら行いました。その後、昼食にささ亭さんのお弁当を食べました。

なかま達が元気よく楽しそうに歌ったり聴いたりしている姿を見て、私たちも元気づけられました。



コロナ禍での活動を振り返って

季節は梅から桜へ、日増しに春めいて参りました。

昨年5月レイアウトした“あーち”の花壇、紫陽花やほてい南天が芽吹き、“いずみ”の芝ざくらも、しっかりと根づきました。季節ごとのポチュラカやパンジー…。

美しい花々は、きっと私達の心を和ませてくれる事でしょう。

さて、コロナ禍の中で多くの行事が中止となり、事業部の活動をどの様に進めたらよいのかと悩んだ一年でもありました。

施設の環境美化として、花植えや草取りに取り組みました。汗を流し作業に参加下さった保護者の皆様本当にご苦労さまでした。

11月4日にはコロナウイルスの感染対策をたて、保護者向けのバザーを開催しました。振り返ってみますと、日用品の他に草花、球根、鉢植えの蘭、果物…。いずみの中庭はいっぱいになり、品定めするお母さん達の笑顔が目につかびます。“くろがねもーち”に来店下さったお客様にも、お買い求め頂き、56,650円という貴重な収益を得る事ができました。

この収益は「障がいを持つ人達が、親亡き後も地域の中で、安心して暮らせる」そんな環境づくりの資金として、大切に活用させていただきます。改めてお礼申し上げます。

私達親と子は、必ず別れの時がきます。親が元気なうちに、何をしなければいけないのか…。今一度真剣に考え、親亡き後の事を視野に入れ、更に充実した環境づくりに向け、法人いずみとともに一丸となり歩んでいきたいと思います。

皆様方のご支援をお願い申し上げます、新年度にバトンを渡していきたいと思っております。

いずみの将来を考える会
事業部 部長 伊藤 豊子

新人職員紹介



はじめまして。昨年12月よりグループホームの職員としてお仕事をさせていただいております稲見公希^{いなみひろき}と申します。いずみは温かい雰囲気の流れであり私もこのような環境の中で働きたいと思いました。一年半ほど前からアルバイトとして勤めておりましたが、未経験からのスタートでしたのでまだまだ分からないことがたくさんあります。真剣に仕事に取り組むなかまの姿を見て今まで以上に頑張らなければならないと思い、なかまや先輩方に教えていただきながら日々勉強しております。なかまと関わる中でなかまの悩みを知り、共に考え解決した時に見せる笑顔が何よりもうれしくやりがいを感じます。この思いを忘れずになかまと共に成長していきたいです。

少しでも早くなかまから信頼していただけるように一生懸命頑張りますのでよろしくお願いします。

ふらっとコーナー

コロナ禍で大きな行事が中止され、ふらっとでもサークルや個別利用などの移動支援が中止・活動範囲が制限されてから1年が経ちました。みんなでマイクロバスに乗ってお出かけをしたり、電車やバスに乗ったり、美味しいご飯を食べに行くことができなくなってしまいました。移動支援が生活の一部になっている方、次のふらっとの予定を楽しみにされている方、「早くサークル行きたいね」と言ってくださる方がたくさんおみえで、改めて移動支援の大切さに気付かされました。限られた活動範囲内でも、とても良い表情をされ、「楽しい」と言ってくださるなかま達は素敵だなと思います。そんななかま達にいつもたくさんのパワーをいただいています。今までの日常が早く戻るよう願いながら、今できることを安心・安全に楽しんでいただけるよう努めていきます。

ふらっとでは、なかまの生活を支えるお手伝いもさせていただいています。仕事の時の真剣な表情や、楽しい時の元気いっばいの表情とは違う、生活の場でのリラックスされた表情を見せてください。苦手だった1人で寝ることが少しずつ支援者と離れて寝ることができるようになり、歯磨きや翌日の準備などを積極的にされていて、成長されているなど日々感じています。また、2人体制によって外出ができるようになり、とても嬉しそうな表情を見せてくださっています。これからも一緒に成長していけるよう頑張っていきたいと思います。

私達と共になかま達の生活を支えていきませんか？
ご興味のある方は、ぜひご連絡ください。
お待ちしております。

サポートハウスふらっと 84-5021



サポートハウスふらっと 水谷

クリスマスプレゼントいただきました!

デンソーファシリティーズ様よりお菓子のプレゼントをいただきました。なかまたちもとても喜んでいました。ありがとうございました。



おいしいケーキを いただきました!!

株式会社 ADEKA 様から今年もクリスマスケーキをいただきました。

いずみのランチタイムになかまで美味しくいただきました。

なかまからも喜びの声が多く聞けました。

ありがとうございました。



TOINあーち ～今年もクリスマスを楽しみました!～

新型コロナ対策のためいつもと違う形となりましたが、今年も皆様の工夫や温かい思いのおかげで楽しいクリスマスを迎えることができました。

「桑名ゴスペルクワイア」の皆さんからは歌とメッセージの動画をいただきました。動画の中で名前を呼んでもらったり例年歌っている歌を聴かせていただいたりして、まるでその場に一緒にいるように体を動かして楽しむことができました。イオンモール東員様からもプレゼントをいただいたので、スタッフがサンタクローズとなり、なかまの皆さんに届けました。

来年はまたみんな一緒にわいわい盛り上げられる日が戻ることを祈りつつ、皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました!



御寄附ありがとうございました 社会福祉法人 いずみ

(一般の寄附)

伊藤 守一 石垣 賢司 小野田 道子

細谷 昌代 伊藤 喜代

東洋ゴム工業労働組合 桑名支部

水谷 仁士

匿名希望 2名(敬称略)

子(ね)の会さん、 いつもありがとう!

ボランティア団体「子の会」の皆様、TOINいずみの清掃活動をしていただき、草取りや落ち葉拾い、花植えのための整地など、とてもきれいになりました。いつもありがとうございます!!

ホームページ toinizumi.ec-net.jp